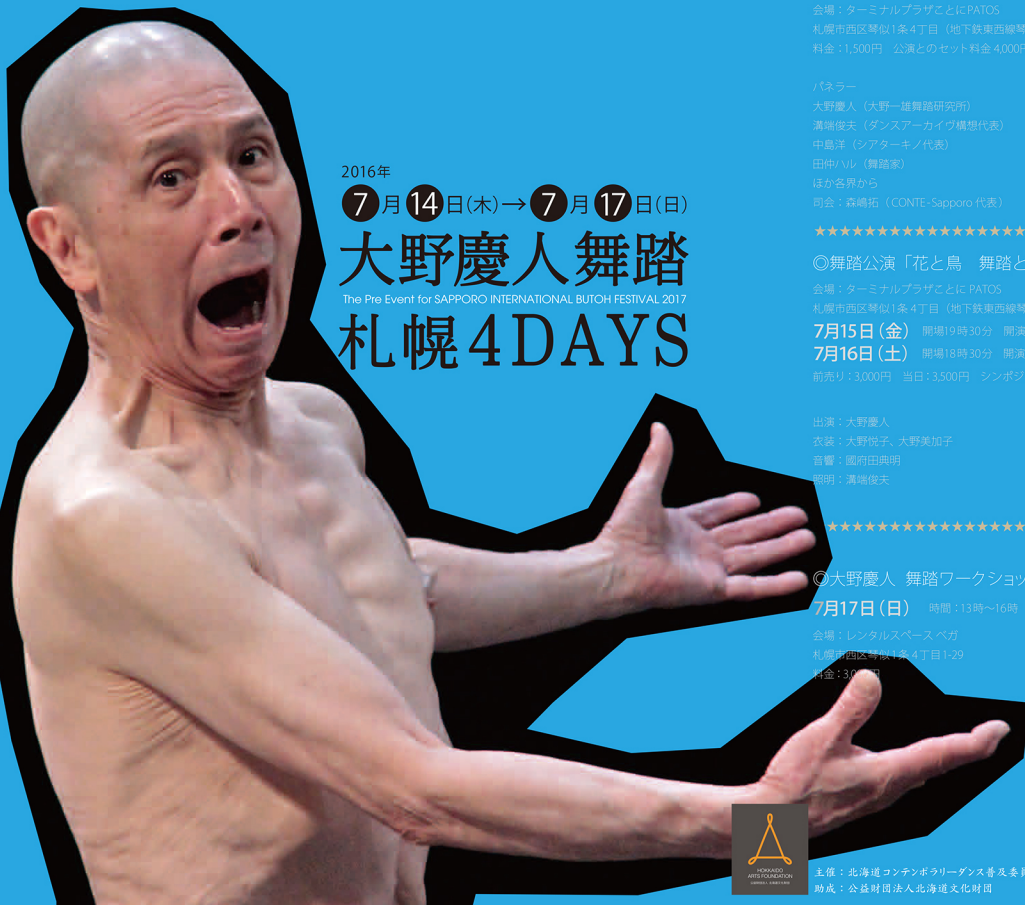




2016年

7月14日(木)→7月17日(日)

大野慶人舞踏

札幌4DAYS

The Pre Event for SAPPORO INTERNATIONAL BUTOH FESTIVAL 2017

◎舞踏シンポジウム

「昭和の軌跡と未来への舞踏。」

～美術、文学、映画とあらゆる分野を渡った舞踏の再考と検証から～

7月14日(木) 開場19時 開始19時30分

会場：ターミナルプラザごとに PATOS
札幌市西区琴似1条4丁目 (地下鉄東西線琴似駅地下2F)
料金：1,500円 公演とのセット料金 4,000円

パネラー

大野慶人 (大野一雄舞踏研究所)
溝端俊夫 (ダンスアーカイヴ構想代表)
中島洋 (シアターキノ代表)
田中/丸 (舞踏家)
ほか各界から
司会：森嶋拓 (CONTE・Sapporo 代表)

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

◎舞踏公演「花と鳥 舞踏という生き方」

会場：ターミナルプラザごとに PATOS
札幌市西区琴似1条4丁目 (地下鉄東西線琴似駅地下2F)
7月15日(金) 開場19時30分 開演20時
7月16日(土) 開場18時30分 開演19時
前売り：3,000円 当日：3,500円 シンポジウムとのセット料金 4,000円

出演：大野慶人
衣装：大野悦子、大野美加子
音楽：國府田由明
照明：溝端俊夫

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

◎大野慶人 舞踏ワークショップ

7月17日(日) 時間：13時～16時

会場：レンタルスペース ベガ
札幌市西区琴似1条4丁目1-29
料金：3,000円

予約／お問い合わせ
info@conte-sapporo.com
080-5591-0098 (森嶋)

大野慶人プロフィール

1958年東京に生まれる。13歳で父・大野一雄からモダンダンスを学ぶ。1989年大野一雄「老人と海」でデビュー。その翌月、土方寅の「景色」で少年役を演ずる。「景色」は舞踏の発展的な作品と言われている。
1990年、土方の「あるまじい」で「黄色ダンス」等舞踏草創期の作品に参加する。
1993年「死海」で大野一雄と共演し、土方提供作品によりカムフラージュした。
1998年土方寅の急逝以降、「痛風」「花鳥風月」等大野一雄の全公演を演出。
2000年代に一雄のひとりで舞台に立てなくなってからは、自ら一雄の体を意味する舞踏公演を続ける。
1998年、新国立劇場の演劇を舞台に自身の作品「ドリアン・グレイの最後の肖像」を上演。
演出に2011年「花と鳥」、2016年「それはこのうたをこぼれた」等。
制作に「大野一雄 魂の舞」(1999 フィルムアート社)、DVD制作「花と鳥 舞踏という生き方」(2016 Cameracolor)



主催：北海道コンテンポラリーダンス普及委員会
助成：公益財団法人北海道文化財団

YOSHITO OHNO BUTOH SAPPORO 4DAYS

2016.7.14 THU ~ 7.17 SUN



◎Butoh Symposium

「The trajectory of the Showa and Butoh to the future.」

～ Art, literature, reconsideration of Butoh, across movie and all areas and Verification～

7.14 THU Open/19:00 Start/19:30

at Kotoni PATOS

4Chome, 1Jo, Kotoni Nishi-Ku Sapporo (Subway kotoni Station B2)

Fee : ¥1,500 ○With Performance set price ¥4,000

YOSHITO OHNO (KAZUO OHNO DANCE STUDIO)
TOSHIO MIZOHATA (DANCE ARCHIVE NETWORK)
YOU NAKAJIMA (THEATER KINO)
HAL TANAKA (BUTOH DANCER)
HOST : TAKU MORISHIMA (CONTE-Sapporo)

◎Butoh Performance 【Flower and Bird Butoh : A Way of Life】

at Kotoni PATOS

4Chome, 1Jo, Kotoni Nishi-Ku Sapporo (Subway kotoni Station B2)

7.15 FRI Open/19:30 Start/20:00

7.16 SAT Open/18:30 Start/19:00

Adv : ¥3,000 Door : ¥3,500 ○With Symposium set price ¥4,000

Butoh : YOSHITO OHNO

Light design : TOSHIO MIZOHATA

Sound : NORIYUKI KODA

Costume design : ETSUKO OHNO, MIKAKO OHNO

◎YOSHITO OHNO Butoh Work shop

7.17 SUN 13:00～16:00

at Rental Space VEGA

1-29, 4Chome, 1Jo Kotoni Nishi-Ku Sapporo

Fee : ¥3,000

Information&Reserve

Mail : info@conte-sapporo.com Tel.080-5591-0098 (Morishima)

The host organization : Hokkaido Contemporary dance Popularization Committee
Grant : Hokkaido Art Foundation

The PreEvent for SAPPORO INTERNATIONAL BUTOH FESTIVAL 2017

札幌国際舞踏フェスティバル2017とは

2017年2月5日～12日(予定)に札幌市内数か所で行われる舞踏のフェスティバル。
写真展、ワークショップ、シンポジウム、舞踏公演の4つを軸に、国内外から多数の
舞踏家を招いて開催される。

舞踏は日本発祥のオリジナルなダンスであり、世界中を見渡しても類を見ない独自の世界観をもつ踊りです。

その影響力は世界中に広がっており、欧州、北米、南米、アジアなどで人気を博しています。

一方で、発祥の地である日本ではあまり認知度は高くありませんでしたが、近年少しずつ興味を持つ人が増え続けています。

札幌国際舞踏フェスティバル2017は、多くの旅行者が訪れる雪まつり期間に開催いたします。

この機会に、国内外のたくさんの方々に舞踏の世界観に触れていただきたいと思います。

北海道コンテンツボランティアダンス普及委員会 委員長

森崎 拓

舞踏公演

「花と鳥 舞踏という生き方」

映画「へそと原爆」上映を含む、約60分のソロ舞踏作品。

大野一雄フェスティバル2013 初演。

出演・演出 大野瘦人

協力 堀江英公

出演：大野瘦人

衣装：大野悦子、大野美加子

音響：岡村田典明

照明：溝端俊夫

大野瘦人は、1959年「禁色」以来、舞踏の誕生と発展、現在に至る変遷の申詰に立ち会ってきました。
ソロ作品「花と鳥」のなかでは、大野瘦人は土方賢の振付作品を踊り、大野一雄の代表作「ラ・アルヘン
チーナ道」を踊り、そして現在の大野瘦人作品を踊ります。

さらにその中に、映画「へそと原爆」(1960 監督・脚本堀江英公)が挿入されます。

この映画は、土方賢と大野瘦人が出演し、最初期の舞踏のエネルギーに溢れた表現と思想を伝える貴重な記録です。

こうして、実際に踊られる舞踏と映像作品を通して、大野瘦人が体験した舞踏の歴史と現在を、観客に体験してもらいたいと願っています。